

芸備線利用促進について



令和4年11月2日
広島県・庄原市
JR西日本広島支社
(広島県域)



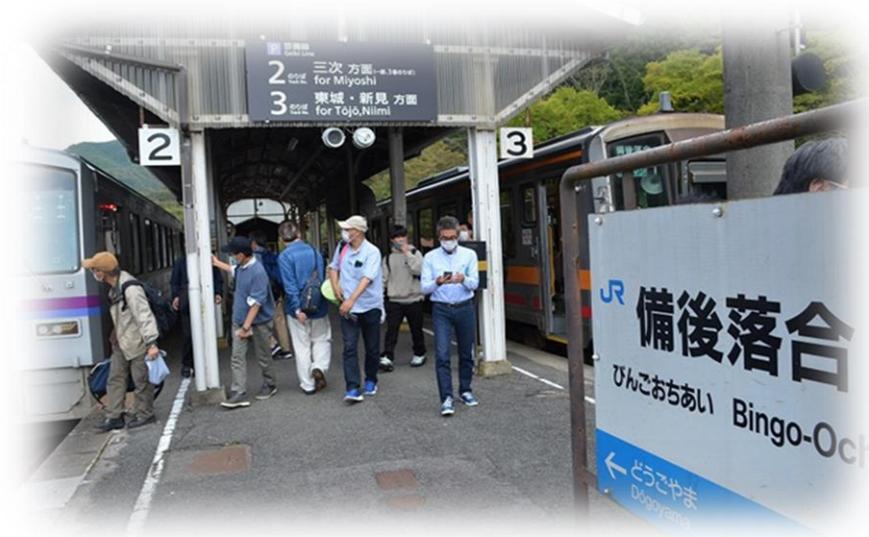
■ ■ ■ ■ 目次



1 令和4年度取組の全体像

2 令和4年度利用促進事業の取組状況

目次



1 令和4年度取組の全体像

2 令和4年度利用促進事業の取組状況

1 令和4年度取組の全体像

取組の基本理念

JR芸備線の利用促進の取組を通じて、交流人口や定住人口の増加を図り、魅力ある、持続可能な沿線地域のまちづくりを推進する。

① 利用促進への市民参画の推進

② 生活交通としての利用促進

③ 市外からの乗客の呼び込み

事業実施に当たっての方針

- JR芸備線の利用促進に向け、上記の3つの柱により関係者が一丸となったインパクトのある利用促進策を実施し、利用客の増加に資する取組みを推進する。
- 沿線市町及び芸備線対策協議会等との連携により、広域的な観点から、**日常利用・観光利用の機運醸成**を図る。
- 「ファクトとデータ」に基づく検討を進めるため、**情報収集・分析の観点を踏まえた取組**を行う。



目次



1 令和4年度取組の全体像

2 令和4年度利用促進事業の取組状況

◆ 観光客の誘客に係る取組

● イベント開催等による機運醸成

- ・ 観光シーズンに合わせ、利用者ニーズを踏まえたイベントの開催により利用を促進する。
 - 庄原ライナーと連携した取組 (沿線エリア)
 - 庄原ライナーと連携した無料シャトルバスの運行 (沿線エリア)
- ・ 関係市町と連携したイベント開催や市民参画の促進により、機運醸成を図る。
 - 沿線3市町連携 「ローカル線の未来を考えるシンポジウム」の開催 (広域エリア)
 - 応援商品開発・販売支援事業 (広域エリア)
 - 観光資源情報発信事業 (広域エリア)
 - 芸備線対策協議会 「サイクルトレイン」の実施 (沿線エリア)

● 観光利用促進策の検討に係る調査・分析

- ・ 利用者ニーズの把握により、観光プロダクトの開発や新たなサービスの構築を図る。
 - ローカルダイブトレインモニターツアー (広域エリア)
 - 観光プロダクト開発 (広域エリア)
 - 広島県 地域公共交通の実態調査 (再掲) (広域エリア)
 - MaaSステーションプロジェクト (市内エリア)

◆ 生活交通としての利用促進に係る取組

● 市民参画の促進による機運醸成

- ・ イベントや利用促進策への市民の主体的な参加を促すことにより、機運醸成を図る。
 - 市民グループ運賃助成 (沿線エリア)
 - 「地域チーム」による各種取組 (沿線エリア)
 - 「1か月間の芸備線モニター実験」 (沿線エリア)

● 日常利用促進策の検討に係る調査・分析

- ・ 公共交通に係る需要予測や移動特性の把握により、日常利用促進の方策を検討する。
 - JRなみか・ほろか決済実証実験 (沿線エリア)
 - 広島県 地域公共交通の実態調査 (広域エリア)
 - 芸備線対策協議会 ニーズ調査 (沿線エリア)

【庄原市①】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【新規】 庄原ライナーと連携した取組

- ◆ 秋の行楽シーズンに合わせ、10月22日～12月11日の土日祝に快速列車「庄原ライナー」が1日1便運行。広島駅の出発時刻を昨年から約2時間早め、乗り継ぎなしで備後庄原までを結ぶ。ライナーに合わせ、関連ツアーの実施、市街地循環バスのダイヤ改正やシャトルバス等の運行により、利便性を高め誘客及び周遊拡大を図る。



【新規】 庄原ライナーツアー

(一社) 庄原観光推進機構

出発日 10/22～12/11 土日祝

3コースを設定 (【新規】お通り鑑賞, 帝釈, スイッチバック)



到着時間が早くなったことで、新たなツアーを造成
販売開始2日で完売



【目標】 216人 (昨年度実績165人)
【申込状況】 184人 (達成率85%, 対前年比112%)

ライナーに合わせた臨時便・ダイヤ変更

- 【新規】 市街地循環バスのダイヤ変更 (備北交通)
期間 10/22～12/11の土日祝
ダイヤを10分繰り下げて庄原ライナーに接続
ツアー以外の庄原ライナー利用者に市内周遊観光を促す
- 帝釈峡ライナーの運行 (備北交通)
期間 10/22～11/27の土日祝
- 【新規】 帝釈峡へ無料シャトルバス運行 (利用促進協議会)
期間 10/29～11/13の土日祝
備後庄原駅 ⇄ 帝釈峡 ⇄ 東城駅を運行

第19回庄原駅前フェスタ (芸備線おもてなしイベント)

備後庄原駅周辺のにぎわいづくりのため、10/22ライナーの運行初日に合わせて開催。
23団体の出店や、吹奏楽のステージに約700人が参加。



【庄原市②】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【新規】 庄原ライナーと連携した無料シャトルバスの運行

(庄原市芸備線・木次線利用促進協議会)

◆ ライナーが備後庄原駅に到着する時刻に合わせ、**帝釈峡・東城方面への無料バスを運行することで利便性を向上させ、**

周遊拡大・利用促進を図る。

- 庄原ライナーに合わせ、帝釈の紅葉を楽しみたい方向けのシャトルバスを運行(10/29~11/13の土日祝)
- 利用状況をモニタリングして次年度以降の取組に活用

■ リビングひろしまへ掲載し情報発信(広島市内に181,200部発行)

【シャトルバス運行区間】

- ① 備後庄原駅前(10:00) = 上帝釈(10:40着)
- ② 上帝釈(11:50) = 下帝釈(神龍湖)(12:20着)
- ③ 下帝釈(神龍湖)(12:20) = 東城駅前(12:40着)
※ JR芸備線備後落合駅行き(13:39)に接続
- ④ 東城駅前(12:45) = 上帝釈(13:10着)
- ⑤ 上帝釈(13:10) = 下帝釈(神龍湖)(13:40着)
- ⑥ 下帝釈(神龍湖)(14:00) = 上帝釈(14:30着)
- ⑦ 上帝釈(16:00) = 備後庄原駅前(16:40着)
※ 高速バス「帝釈峡ライナー」(17:00)に接続

掲載する帝釈峡プランのほかにも、庄原市街地、国営備北丘陵公園、ショッピングセンタージョイフルでの写真展などをめぐるモデルプランも提案!

【庄原市③】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 利用促進への市民参画

【拡充】 「ローカル線の未来を考えるシンポジウム」の開催

◆ 新見市・奥出雲町・庄原市が連携し、シンポジウムの開催などを通じて、
鉄道の広域ネットワークとしての役割や重要性、鉄道を活用した地域振興の可能性について考える。

- 開催日 11月27日(日)
- 会場 ウイル西城 (庄原市西城町大佐741-1)
- 主催 県境鉄道サミット実行委員会
- 内容

- ① シンポジウムの開催 (参加者想定 200名)
 ⇒ ローカル線の価値や重要性、鉄道は地域振興に必要な地域資源であるということが再認識できる内容で実施
- ② 集客イベント (参加者想定 800名)
 ⇒ メインイベントとして、3市町の特産品である「和牛肉」の食べ比べ
- ③ 芸備線・木次線利用促進
 ⇒ 定期便利用及び臨時便運行についてJR西日本へ依頼

◆ 芸備線・木次線ダイヤ等

■ 広島・三次方面 (芸備線/貸切バス)

- 行き
 - ① 臨時便 三次7:49発→備後庄原8:22発→備後西城9:00着
 - ② 庄原ライナー 広島7:33発→三次9:09発→備後庄原9:45着→(バス乗換え)
→10:30備後西城着
- 帰り
 - 定期便 備後西城15:02発→備後庄原15:31着→三次16:03着→広島17:34着

■ 奥出雲方面 (木次線/芸備線)

- 行き
 - 定期便 出雲三成7:25発→備後落合9:09発→備後西城9:28着
- 帰り
 - 定期便 備後西城14:02発→備後落合14:21着→出雲三成16:14着

■ 新見・東城方面 (芸備線)

- 行き
 - 臨時便 新見駅7:04発→東城7:53発→備後落合9:09発→備後西城9:28着
- 帰り
 - 定期便 備後西城14:02発→備後落合14:21着→東城15:26着→新見16:01着

JR芸備線・木次線 沿線3市町連携利用促進イベント

ローカル線の未来を考えるシンポジウム

～ローカル鉄道は地域活性化の切り札～

2022 11.27 SUN

10:30～(少雨決行・荒天中止)
 ウイル西城2F ウイルホール
 (庄原市西城町大佐741-1)
 定員 200名 参加費 無料

同時開催
和牛サミット
 日本最古の蔓牛が西城町に集結!
 庄原市・新見市・奥出雲町の自慢の和牛を食べ比べ!

3食1セット(モモ焼肉) 1,500円
 ※別売り可(お断りください)

物販・飲食ブース 9:00～
 ステージ 13:00～

主催 県境鉄道サミット実行委員会(事務局:庄原市 企画振興部 いちばんづくり課)
 0824・73・1278 ichiban@city.shobara.lg.jp

◆ 和牛肉食べ比べについて

たたらや農耕が盛んな庄原市・奥出雲町・新見市では運搬や農耕牛として古くから和牛が飼育されていた。
 和牛改良も盛んで、日本の和牛のルーツである4大蔓牛を生んだ地域でもある。

- 比婆牛…岩倉蔓
- 千屋牛…竹の谷蔓
- 奥出雲牛…ト蔵蔓

和牛のルーツ4大蔓牛のうち、
3つの和牛肉を堪能できる!



【庄原市④】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【継続】 芸備線・木次線応援商品開発・販売支援事業

◆ 芸備線・木次線のPRを図るとともに、ふるさと納税による市外からの応援を募るため、芸備線・木次線応援商品の開発を進める。

- 令和3年度は3品の商品開発、販売支援を行った。
- 年末に向け、特別記念酒をふるさと納税の返礼品とした寄付が伸びている傾向にある。
- 引き続き、利用促進事業などに活用し、更なる利用者増加に向けた取組を推進する。
- 新たな商品のブラッシュアップに取り組んでおり、令和4年度は4社を支援中。



【令和4年度の開発・支援の状況（予定商品等）】

- 総領こんにやく有限会社 こんにやく詰め合わせ
- 協同組合庄原里山の夢ファーム ブランド米
- 株式会社後藤商店 食酢（赤酢・フルーツヴィネガーセット）
- 農家カフェひばーばの縁側 クロモジ等を活用した茶など



【庄原市⑤】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【新規】 芸備線・木次線観光資源情報発信事業

庄原市芸備線・木次線利用促進協議会ホームページ開設（6月）

■協議会HPトップページ

◆ 芸備線の歴史や沿線の魅力、関連イベント情報等について幅広い情報発信を行うことにより、利用者の増加及び誘客促進を図る。



(掲載内容)

- ① 芸備線の歴史、地域における価値など
- ② 沿線の魅力、芸備線・木次線の乗り方、路線図、駅及び駅周辺のポイント等を紹介
- ③ 利用促進協議会の目的、活動内容など
- ④ 芸備線関連イベント等の情報発信

※ 10月末現在のページビュー1万ビュー達成
今後はSNSを活用して拡散を図る予定



協議会HP
QRコード

■地域チームの取組紹介

平子駅・油木駅の御乗印カードを配布中です！

西城町観光協会が、平子駅・油木駅の御乗印カードを配布中です！

平子駅前簡易郵便局・油木駅前簡易郵便局に設置しており、

局の開所日・開所時刻に、芸備線をご利用された方お一人様につき1枚配布されています。

投稿日：2022.09.27

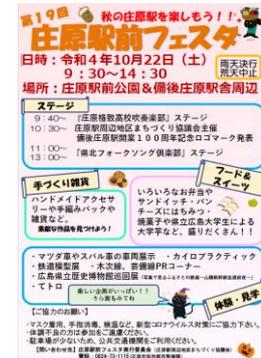


■芸備線関連イベント等の情報



「芸備線・応援！！ポスター」を
展示中です

投稿日 2022.10.5



第19回 庄原駅前フェスタが開催
されます！

投稿日 2022.10.14



「芸備線サイコロトレイン」開催！
参加者を募集しています

投稿日 2022.10.18

【庄原市⑥】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【新規】 ローカルダイブ トレインモニターツアー

◆ 地域ならではの人やモノ、コトに触れることを目的に旅をする「ローカルを志向する旅人」を本市に呼び込むため、どのようなサービスや体験がローカルを志向する旅人を惹きつけるのか分析・検討するためのモニターツアーを実施し、鉄道利用の強みや改善点、利活用アイデアを抽出する。



● 第1弾 モニターツアー（8/20実施）

8月20日（土）に日帰りで実施。広島・呉市から30人が参加。

【コース例】

「広島最北の地へ！ 乗り鉄×飲み鉄×BBQコース」（西城町油木）

「神話を体感！ 熊野神社参拝&熊野地域の心に触れようコース」（西城町熊野）

（参加者からの意見）

「他にはない、他では体験できないツアーだった」「ぜひ、また参加したい」など

（地元からの意見）

「地域の誇りを改めて再認識できた」「とても意義あるツアーだった」など

（検証結果）

- ・ローカルに根差した体験や交流は満足度の高い観光プロダクトになる。
- ・鉄道の車窓の良さは、ローカルダイブのコンセプトと相性が良い。
- ・鉄道ファン以外の人が増えており、観光利用のポテンシャルは高い。
- ・日帰りで庄原らしさを感じられるプランは今後も当面ニーズが見込める。

季節ごと、また地域ごとにコースを固定し商品化することで、1回の実施につき30名の利用者増が見込める

⇒ 土休日限定で広島市まで日帰りができるダイヤを増設

● 第2弾 モニターツアー

12月～3月に1泊2日で開催を計画中で、より実践に近づけるため、貸切列車の運行ではなく、定期便を利用したツアーとすることを想定。

■ ローカルダイブトレイン第1弾の様子



【庄原市⑦】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【新規】観光プロダクト開発

- ◆ 庄原市にインバウンドを含めた多くの観光客を呼び込み、JR芸備線・木次線の利用者を増やしていくため、沿線の観光資源を掘り起こし、新たな観光プロダクトとして整備する。

● 観光プロダクト計画案の策定

庄原DMOに業務委託を行い、沿線地域の河川を活用したアクティビティの開発を念頭に事業計画案を策定する。

(1) 沿線資源の把握

- ・市内で現在実施されている、河川を活用したアクティビティについて実態把握を行う。
- ・実施主体に対する聞き取りのほか、必要に応じて体験や現地確認等を実施する。

(2) 先進地視察

- ・シャワークライミングやキャニオニング等を提供している事業者があり、インバウンドの受け入れ実績もある四国エリアを視察しノウハウを学ぶ。
- ・オフシーズンに可能な事業等、関連する情報を収集し、必要に応じて計画に反映させる。

(3) 資源開発・計画策定

- ・シーズン中、恒常的に提供できるプロダクトとして整備可能な場所、内容を定め、計画において整理する。
- ・適宜、専門性のある事業者から助言・指導を受けプロダクト化を進める。



■シャワークライミング現地見学（西城町熊野）

今年度はオフシーズンにおける事業着手となるため、事業計画案の作成を到達点とし、次年度において各アクティビティを試行した後、観光プロダクトとして完成させることを見込む。

【庄原市⑦】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【新規】 MaaSステーションプロジェクト

- ◆ 備後庄原駅に観光情報や移動手段を案内する窓口を試験的に開設し、市内周遊の移動ニーズや傾向の把握・分析を行う。
- ◆ 「いつ・誰が・どのような目的で・どこへ」案内したかのデータを収集・分析することで、ITを活用したワンストップでの情報提供システムの構築を図る。

- 実施主体 庄原MaaS検討協議会
- 実施期間 10/22～12/11（庄原ライナーの運行期間）
- 想定する主なターゲット
公共交通利用の観光客
- 情報発信, 案内
 - ・バス・JR・タクシーなど地域のモビリティ情報
 - ・飲食店・宿泊施設・観光施設の情報
 - ・レンタカー・Eバイクなどの他のモビリティ情報
- 問い合わせ状況
 - ・観光地へのアクセス方法や2次交通に関する問い合わせが多い。
 - ・観光内容や滞在時間を考慮した帰りの便の提案が必要。
 - ・広島から庄原までの便だけでなく、新見方面からの接続便を希望する声があった。

庄原MaaSステーションプロジェクト(庄原版MaaS構築事業令和4年度実証実験)

楽しむのもっと もっと

安心して庄原へお越しください

庄原の観光・交通のご案内は！お電話・LINEで！

Shabara sightseeing information

バスの時刻・タクシー・飲食店・宿泊施設
観光施設情報・モビリティ情報等
お電話でご案内致します！

- レンタカーを予約したい！
- 庄原に行きたいけど、どの交通機関を使えばいいかわからない！
- 庄原の飲食店を紹介してほしい！
- 庄原を演奏できるプランを教えてください！
- 電動レンタサイクルを予約したい！

まずはお電話又はLINEで！

こんな観光のお悩みお答えします！

庄原観光プランをオペレーターがお電話でご案内致します！

090-8914-9768

LINE

庄原MaaSステーション

期間 令和4年10月22日～令和4年12月11日 9:00～15:00

MaaS 庄原MaaS 検討協議会

【庄原市⑧】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 利用促進への市民参画

【新規】 地域チームによる利用促進策の推進

◆ 庄原・西城・東城地域の各チームが実施する普及啓発・実践活動を支援

活動内容 ・ 地域ニーズに沿った利用促進対策の推進
 ・ 地域からの情報発信など

西城地域



ローカル線スタンプラリー
(チーム全体)



駅舎塗装作業
(西城町観光協会・紫水高校)

庄原地域



駅周辺環境整備・交流会
(東自治振興区・格致高校)



芸備線乗車イベント
(庄原青年会議所)



利用促進策を展開

- ① 利用促進への市民の参画
- ② 生活交通としての利用促進
- ③ 市外からの乗客の呼び込み

東城地域

東城街並み散策，母衣体験
(11/5開催 庄原青年会議所との連携)



その他各地域で環境整備やイベントを実施

【庄原市⑨】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 生活交通としての利用促進，市外からの乗客の呼び込み

芸備線対策協議会の取組

芸備線の沿線4市で構成し，緊密な連携のもと，利用促進事業，関係機関への要望，情報発信を展開。



【新規】 芸備線サイクルトレイン 11/12(土)

- ◆ 県北エリアの魅力を活かした芸備線の利用促進の取組として実施。
 自転車を列車で運び50kmを走るコースと，庄原ライナーで到着後，電動アシスト自転車で25kmを走るコースで県北を満喫する。

申込状況

- 【中級コース】 定員20人 → 申込者数30人
- 【初級コース】 定員30人 → 申込者数42人

【新規】 芸備線ニーズ調査 9月～10月

- ◆ 芸備線利用者の特性や移動ニーズなどの実態を把握するため，芸備線への乗り込み調査による利用者アンケートを実施。
 アンケート結果は11月公表する予定で，今後の利用促進への活用を図る。

実施状況

調査対象列車数47本
 回答者数2,328人



【庄原市⑩】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 生活交通としての利用促進

【新規】 JRなみか・ほろか決済の実証実験

- ◆ 市内4駅において、市独自のキャッシュレスカードにより乗車券の購入が可能な環境を整備し、利便性の向上を図るとともに**決済時にポイント付与することにより利用促進を図る。**さらに、**定期券の購入には通常の10倍のポイントを付与することで定期券利用者の増加を図る。**



○ キャッシュレスカード「な・み・か」, 「ほ・ろ・か」

庄原市内の加盟店で利用できるキャッシュレスカード。これまで利用されていた「ほ・ろ・か」に加え、コロナ禍における市民の生活支援と、市内経済の消費回復のため、令和2年に「な・み・か」を発行。

市民の約9割が保有し、高齢者や子どもの見守り機能に加え、令和4年度においても、地域経済・住民生活支援として市がポイント付与事業など実施。

【拡充】 市民グループ運賃助成

- ◆ 市民の芸備線利用を促進するため、グループで利用した場合運賃の2/3を助成。**利用人数や対象区間の助成要件を緩和し、制度を拡充して実施。**

(各年度10月末)

区分	利用件数	利用人数
令和3年度	6件	141人
令和4年度	14件	170人

制度の拡充により、利用するグループの人数要件を5人以上から4人以上に変更。利用件数、利用人数ともに昨年度と比較して増加した。

昨年度より利用団体数が多くなり、市民団体や地元自治会、子どもなど幅広い世代で芸備線を利用された。

【広島県①】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 市外からの乗客の呼び込み

【継続】 県の広報媒体を活用した情報発信による機運醸成

- ◆ 芸備線の歴史や沿線の魅力、具体的な利用プランについて、幅広い世代に向けた情報発信を行うことにより、利用者の増加及び誘客促進を図る。

👉 県内の旬な話題等について情報発信を行う「ひろしまラボ」を活用し、芸備線を利用した旅の魅力と具体的なプランを紹介

(紹介プラン)

- 6：57 広島県の玄関口「JR広島駅」出発！
- 10：00 大正生まれのレトロ駅「JR備後庄原駅」到着！
- 10：10 今話題の「E-BIKE」をレンタルしよう！
- 12：00 三河内（みつがいち）棚田テラスで眺める里山風景
- 12：30 ワニって食べられるの!? 庄原の郷土料理を楽しもう
- 15：00 庄原の魅力がぎゅっと詰め込まれた「食彩館ゆめさくら」



【広島県②】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 生活交通としての利用促進，利用促進への市民参画

【継続】 「1か月間の芸備線モニター実験」の実施

- ◆ 庄原市内又は三次市内の高等学校へJR芸備線を利用し通学する見込みのある，庄原市内及び三次市内の芸備線沿線地域の中学校生徒に対し，芸備線を利用した通学の呼び掛けを行うことで，芸備線の利用促進を図る。

内容

- 希望者に対しヒアリング等を行い，各生徒に合った通学利用プランを提示。（通定期券情報，乗車方法，運行情報に関するお知らせ，芸備線で通学することのメリットなど）
- 通学利用プランを提示した生徒に対し，高等学校通学時における芸備線の利用意向調査を実施し，効果検証を行う。



合格祈願グッズ「すべらない砂」

広島県 JR芸備線利用促進プロジェクト

芸備線で 素敵な高校生活を 送りませんか？

芸備線沿線にある庄原市内・三次市内の高校への進学を志望または検討している中学3年生のみならず、進学先を考える参考に、志望校へ通う自分をイメージしてやる気アップに、芸備線での通学利用プランを作成してみませんか？

自宅から志望校まで、芸備線での通学をシミュレーションするあなただけの通学利用プラン

「高校生活タイムテーブル」 & 「汽車通スタートガイド」

9～10月頃 お渡し予定

- 芸備線の乗り方 「ワンマン列車乗りこなし術」
- 定期券を買おう (初めて買う時・継続利用)

合格祈願グッズ付

お申し込みいただいた方は、来年3月頃に実施するアンケート調査へのご協力をお願いします。

対象者

以下のすべてを満たす方が対象です。

- 芸備線沿線にある庄原市内、三次市内の中学校に通う3年生
- 庄原実業高校、庄原格致高校、西城紫水高校、東城高校、三次高校、三次青陵高校のいずれかを志望している（※複数校に申込が可能です）
- 高校通学にあたって芸備線の利用が1区間以上あると見込まれる

※お申し込み頂いた高校に芸備線で通学することが困難な場合、利用プランは作成されません。ご了承ください。

芸備線沿線にある 中学校 & 高校

【広島県③】 2 令和4年度 利用促進事業の取組状況

➤ 生活交通としての利用促進，市外からの乗客の呼び込み

「移動需要」を把握し，芸備線への転換に向けた検討につなげる。

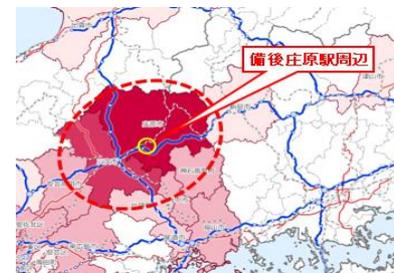
交通手段の転換に向けた移動需要の把握を実施。

R3年度 調査の概要

【主な対象エリア】 芸備線19駅周辺2km×2km
【主な利用データ】 NTTドコモユーザの基地局の在圏情報

【調査結果】

- ・ 平日の地域内・短距離移動が多く，通勤・通学や買い物等の日常利用が多い。
- ・ 観光客などの域外を含めた人流の把握が十分ではないことから，対象エリアを拡大した調査を実施が必要。

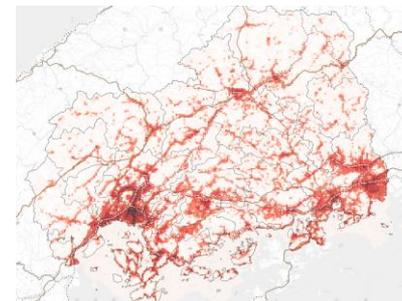


R4年度 調査の概要

【主な対象エリア】 県内全域
【主な利用データ】 NTTドコモユーザの基地局の在圏情報

【調査結果】

- ・ 都市拠点（庄原市役所・備後庄原駅周辺など）：通勤・通学の出発地として朝夕の移動が多く，朝夕と昼間（買い物等）でターゲット別の検討が必要。
- ・ 地域拠点型（庄原IC，市内道の駅など）：拠点周辺では日中の滞在量が多い。今後移動量の減少を踏まえ，目的地としての魅力向上の観点も踏まえた検討が必要。
- ・ 移動需要分散型（庄原市内に点在）：小規模の移動需要が分散的に存在。高齢者にとっては免許返納後の移動手段が課題。



【今後における調査の方向性】

- ・ 秋の利用促進策の期間に合わせた移動需要の把握。
- ・ 移動需要の目的や交通手段等を「見える化」して，芸備線への転換に生かせるかの検討を行う。

【参考資料】 令和4年度 庄原市等利用促進事業の取組状況（1 / 2）

事業名	事業内容	予算額 (千円)	実施主体
ローカル線の未来を考えるシンポジウム	関連3市町（奥出雲町，新見市，庄原市）の連携事業	400	庄原市
芸備線・利用促進啓発事業	芸備線利用者限定でオリジナルグッズ（付箋）配付	404	庄原市
芸備線グループ利用助成金	市内の駅から芸備線を利用する市民グループに対する利用助成	600	庄原市
JRなみか・ほろか決済実証実験	キャッシュレスカードでの切符等購入環境整備及びポイント付与	420	庄原市
芸備線・木次線観光資源情報発信事業	タウン情報誌への記事掲載（観光情報や利用方法）	350	庄原市
芸備線・木次線応援商品開発・販売支援事業	市内業者による，ふるさと納税返礼品の開発，販売を支援	4,060	庄原市
JR芸備線利用促進プロデューサー活動事業	専門的知識を有する人材による利用促進策の企画・実施	1,244	庄原市
芸備線・木次線利用促進協議会事業	協議会事業（利用促進研修会，イベント開催，HP等による情報発信）の支援	2,796	利用促進協議会
JR利用促進事業補助	10人以上のグループに対する芸備線利用助成	60	芸備線対策協議会
芸備線利用促進地域活性化イベント補助	芸備線の列車・駅舎等を利用するイベントへの経費助成	80	芸備線対策協議会
芸備線パーク＆ライド	新たに芸備線を利用する通勤者を対象とした社会実験	1,000	芸備線対策協議会

【参考資料】 令和4年度 庄原市等利用促進事業の取組状況 (2 / 2)

事業名	事業内容	予算額 (千円)	実施主体
芸備線おもてなしイベント	芸備線沿線地域の活性化及び乗車機会の創出のため、沿線各市の駅周辺でイベントを開催	1,200	芸備線対策協議会
広島ローカル線周遊デジタルスタンプラリー	芸備線・福塩線・呉線の駅や観光地などを巡るデジタルスタンプラリーを実施	2,000	芸備線対策協議会
鉄道利用に係るニーズ調査	三次－広島，備後庄原－三次間で鉄道利用の実態調査を実施	2,800	芸備線対策協議会
芸備線サイクルトレイン	三次－広島，備後庄原－三次間で鉄道利用の実態調査を実施	2,000	芸備線対策協議会

【JR西日本広島支社①】 2 令和4年秋 利用促進事業の取組状況

➤ 広域交通に係る取組①

(1) 快速「庄原ライナー」の運転

	施策	内容	所要時間	実績
R3 年度	臨時列車①	庄原ライナー 備後庄原到着 (11:56)	1時間51分	期間中計 516人 (平均32人/日)
	臨時列車②	三次発普通列車 備後庄原到着 (10:36)	2時間49分	期間中計 399人 (平均25人/日)

※庄原へ直通 & 午前中に庄原地域をお楽しみ頂けるダイヤを設定

	施策	内容	所要時間
R4 年度	庄原ライナー 備後庄原到着(9:45) (全区間新規設定)	・広島→備後庄原への乗り継ぎなしの速達直通列車 ・従来より2時間早く到着し、午前中に一巡り	2時間12分



(2) 快速「庄原ライナー」と連携した地域の取組み

内容	施策名	実施主体
① 駅からの利便性向上	庄原市街地循環ひまわりバスの運転	庄原市・備北交通
	バス&レールどっちも乗り放題パス2デイ	備北交通・JR
② 現地案内/情報発信	MaaSステーションプロジェクト	庄原MaaS検討協議会
	庄原駅前フェスタ	庄原駅前フェスタ実行委員会
③ おとくなツアーの設定	助成金を活用した庄原への旅	庄原観光推進機構

主要駅へのポスター掲載



どっちも乗り放題利用区間



庄原MaaSステーション



庄原駅前フェスタ

庄原ライナーを活用したツアー

【JR西日本広島支社②】 2 令和4年秋 利用促進事業の取組状況

➤ 広域交通に係る取組②

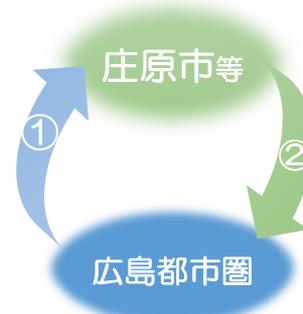
(3) 広島都市圏 ⇄ 庄原地域相互の魅力を訴求するツアーの設定

- ①地域に滞在し、体験をすることでリピーターが期待できる
- ②地域の人々に広島の都市部に鉄道で来てもらうツアーを設定【ツアー紹介（一部）】

- ・9/22ほか 広島の都心、魅力再発見ツアー
- ・11/5 トレジャーハンター（備後庄原～東城間直通運転）
- ・11/12 【初開催】芸備線サイクリトレイン（備後庄原下車）

令和3年度	令和4年度
20本設定	36本設定

↑ 1.8倍



(4) 情報発信・営業施策等

① 関係人口創出

地域産業や地域産品を切り口とした地域のファンが継続的に創出される仕組みづくり

■ おてつたび実証実験

8/29～9/4東城町での農業体験
→東京都・神奈川県・香川県から3人が参加、収穫を体験

② 地域の魅力発信

■ 庄原里山マルシェat広島駅

2021年10月19日から毎月1回実施 計13回実施（平均350名来場）
野菜・果物を中心とした食材や加工品の販売、庄原エリアの観光PR

③ 営業施策

■ バス&レールどっちも割きっぷ 広島都市圏からご利用しやすい商品の設定



【JR西日本広島支社③】 2 令和4年秋 利用促進事業の取組状況

➤ 地域交通に関する利用促進

(1) バスとの連携による乗車機会の充実

地域のニーズ：乗りたい時間に乗れる 回答率60.7% ※2020年7～9月 芸備線・福塩線沿線住民アンケート（広島県）より

備北交通株式会社との連携「ちよこっとパス+」の活用

【R4年度実施事項】

JRの学生定期券（庄原～高，平子，西城のいずれか）をお持ちの方にちよこっとパス+を付与し地域の公共交通の利用を促す

【更なる利便性向上に向けた検討事項】

- ・バスと鉄道の近接したダイヤの調整によるフリークエンシーアップ
- ・定期通勤者への利用者に対象を拡大



(2) ICカード

地域のニーズ：ICカード 回答率50.6% ※2020年7～9月 芸備線・福塩線沿線住民アンケート（広島県）より

地域住民の9割がお持ちの地域ICカード（ほろか・なみか）で駅で切符を購入頂けるサービスの検討
定期券の購入時には、通常の10倍のポイントを付与（備後庄原駅・備後西城駅・小奴可駅・東城駅）

(3) 駐車場整備

地域のニーズ：駐車場・駐輪場がある 回答率25.3% ※2020年7～9月 芸備線・福塩線沿線住民アンケート（広島県）より



令和4年10月1日よりパーク&ライド社会実験開始

モニターの方に対して、**駐車場代が賄える、最大4,000円/月**を協力金として交付。マイカー利用者の2次アクセスの利便性を向上し、これまで芸備線で通勤していなかった方の利用を促す



ご利用例：東城駅

ご清聴ありがとうございました。